

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 森伸	代表者	森下 真二	法人・ 事業所 の特徴	我が事業所は、近鉄小俣駅の前にディアライフ伊勢西(サービス付き高齢者住宅)と併設された所に建てられた事業所です。利用者様との相互の関わりを大切に、菜園や趣味を活かした作品作りなど、自宅に住みながらその人に合ったペースで穏やかな時間を過ごせる施設です。
事業所名	小規模多機能ホーム 森伸伊勢西	管理者	岩井 照美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	2人	2人	0人	人	3人	人	11人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ全員が共通した目標を持ち、各自がスキルアップに励む。</li> <li>・各自知り得た情報や知識を発表、発言する環境をつくる。(部署会議等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの人材育成として、リーダーが育った事は大きな原動力となった。</li> <li>・御利用者の笑顔を見ると自然と元気が出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を率直に述べる雰囲気があり良かった。</li> <li>・小規模の役割がどのようなことなのかわからなかった。どう評価してよいか難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御利用者のサービスの質の向上のため、「生きがい」を目指していく。</li> <li>・個々のスキル向上</li> <li>・森伸実践五項と3Sの再確認と実践</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境等は今後も窮屈さを感じさせない環境づくりを目指す。</li> <li>・書類の整理、トイレ、洗面所、床、玄関、浴室の清潔に保てるよう清掃を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庭には、野菜・花が植えてあり収穫が出来たらおやつレクリエーションを楽しんでいる。御利用者と職員に笑顔があると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあれば職員の目が届き確認できる距離間なので安心なのではないか。</li> <li>・フロア全体を見まわせ、天窗もあるので明るく開放的と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ、洗面所、床、玄関、浴室、台所の掃除は毎日出来るようチェックリストを作成し行う、修繕箇所・危険性がないか毎月チェックを行う</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員が「地域とのかかわりを持つ」</li> <li>・「森伸たより」を職員が配る。</li> <li>・地域の清掃に参加</li> <li>・地域の会合等に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の清掃に10月参加できた。</li> <li>・まちづくりの会主催「グランドゴルフ大会」に御利用者と共に参加</li> <li>・外出支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「森伸たより」は自治会で回覧板として閲覧出来ている。</li> <li>・小俣駅と近隣の清掃(ゴミ拾い)</li> <li>・相談しやすい場所にはなっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員が「地域とのかかわりを持つ」</li> <li>・「森伸たより」を職員が配る。</li> <li>・地域の清掃活動と駅のゴミ拾い</li> <li>・地域の会合等に参加</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事の情報収集をし、具体的なスケジュールをたて参加していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物など御利用者が行きたい事前に関き取り一緒に行く。</li> <li>・季節によって公園に出向き、気分転換や地域の方と交流に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所で個々の意見が話しやすいが、小規模多機能の役割が何なのかが分からない。</li> <li>・限られた時間の中で参加者を集うのは難しいところがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事や清掃活動は、地域と連携強化に努める。</li> <li>・事業者での食事会だけでなく外食を年2～3回計画</li> <li>・住民の方が来館→ポスティング</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議に職員が全員参加できる雰囲気作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自運営推進会議に参加した事でサービスの考え方を見直しする事が出来た。</li> <li>・地域への周知度がまだまだであるが職員の意識向上に繋がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2カ月に1回であるが、利用者状況等を職員から説明・写真展示から事業所の雰囲気が伝わった。</li> <li>・職員が変わって参加しているので事業所の様子が伝わってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議での意見交換を大事にするには、今後とも雰囲気作りを大切にして現状と課題を把握する。</li> <li>・地域の声を聞き逃さない。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>(前回の改善計画の再確認。)</li> <li>・防災、災害時の緊急連絡先の確認</li> <li>・非常食、防災の必需品の確認</li> <li>・防災マップ、防災マニュアル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所での防災訓練は行ったが近隣住民との訓練が出来ていない。</li> <li>・夜間職員1名何処まで何が出来るか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時、自治会とは距離がある為協力的な動きが出来ないのではないかと感じる。</li> <li>・近隣住民との連携を今後とも考えていく必要があると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災担当責任者との連携についてスピード感を持って対応策を行う。</li> <li>・非常食の賞味期限の確認と食量を視える化。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30~21 : 25)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	1 人	1 人	11 人

前回の改善計画	<p>・御利用前のカンファレンスの情報を職員全員で共有し、サービス開始時には十分なミーティングを行う仕組みを徹底する。各自知り得た情報は個人記録に記入するとともに利用者様の望む支援と適切なサービス提供が出来るようデータを取り食事・排泄・入浴等のマニュアルを作り上げていく</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・御利用者との信頼関係を築こうと職員の努力が自己評価に結果として出たと感じる。知り得た情報や記録・マニュアル等スピード感をもって行っているが不安が残る。誰が見てもスピード感をもって完全な物にしていく必要がある。家族の思いを汲み取ることも大事と感じる</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	2	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	8	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	8	3	0	11

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規御利用者への面談に現場の職員も携わり、生活歴、仕事、趣味、食事の好み、体調 (既往歴) など聞き取りを行っている。</li> <li>・家族が困っていることを受け止めて報告行い、不安を取り除いていけるよう配慮を行っている。</li> <li>・フェイスシートから御本人・家族の意向に沿った環境作りを考えスタッフで話し合いを行う。</li> <li>・食事・排泄・入浴等のマニュアル作成ができている</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の意欲・スピード・理解力などバラツキがあるため、細かい情報がスタッフ間で密に交わされていない。</li> <li>・ミーティングを行っているが全員のスタッフに把握するには限られた時間内では、情報共有ができないことがある。</li> <li>・家族が必要としている支援ができているのかを聞き取る機会が少なく家族の思いが十分に聞けていないことがある。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前のカンファレンス時、細かい情報がスタッフで密に交わされているか管理者、CMが確認を行っていく。できていない時は、直接アドバイスや助言を行う。</li> <li>・利用開始前のフェイスシートより家族への質問等の聞き取りを行っていく。また、職員は意識を持ちフェイスシート等責任を持って確認をおこなう。わからない事、確認事項を管理者、CMに伝えることの徹底をする。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30~21 : 25)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	4 人	1 人	11 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様のかかわりの中で、その方の好きな事・出来る事に気付き記録、申し送りを行い皆で共有する。～したいの実現は、ご本人の希望を担当職員が作成し全職員で取り組む。</li> <li>・願望のある御利用者の意見を元に長期目標・短期目標に分けてスケジュール表作成して一週間のプログラムを作成してみる。(出来る人と出来ない人との2通りが必要)</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務スケジュールがあることにより各自一日の業務が明確となり目的が出てきたことは良かった。しかし各々のスキルや意識の差が出てきている。</li> <li>・業務に追われ記録記入の漏れがある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	6	2	2	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	3	2	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	3	2	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	2	6	3	11

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン作成の目標・希望・目的は掴めているので、何に興味があるのか知って寄り添いながら楽しく生活が出来るよう関わっている。また、ご本人の思いをわかるように意識しながらコミュニケーションを取っている。</li> <li>・御利用者 と 寄り添い共感出来るよう接し、時間にもゆとりをもって行動している。</li> <li>・一日の業務スケジュールから「御利用者のかかわりに目標を持つ」ということが出来る様になった。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間の中で十分な関わりが出来ていない。</li> <li>・「～したい」を聞いても NO の人に対して上手く働きかけが出来ていない。(本心が聞けていないのではありませんか。) また、聞きにくい人、話しかけ難い事がある。</li> <li>・申し送りノートや記録を記入することを忘れることがある。忙しいと、「待つて。」と言ってしまう。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のモニタリングをご利用者の担当者が介護記録の読み返しやコミュニケーションのなかで行っているが、会議において全職員で話し合いを行う。</li> <li>・CM, 管理者も確認を行っているが、サービス内容の面でチェックとご本人・家族とも話し合いを行っていく。</li> <li>・時間の問題は各自が効率の良い動きに意識を持てるよう心掛けていく。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30～21 : 25)

3. 日常生活の支援

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	0 人	11 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼にこだわらず一日の業務の中で職員が、揃えやすい時間帯に(例…昼礼)行いその都度御利用者の状態・情報の申し送り、職員が確認した上で積極的な意見が出される環境を創る。</li> <li>・月 1 回の職員会議では、出された意見を有意義にする為計画性をもって進めていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼から昼礼に変えほぼ毎日行えるようになった。申し送りも以前に比べてスムーズに行えるようになったが、気付きの面で個人差があり記録として文章に挙げるスキルが身に付いていない為、モニタリングとして報告が遅くなる場合がある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	3	5	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	7	0	2	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	4	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	2	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	5	0	11

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に合わせた基本的な介護はできている。常にスタッフからの意見が言いやすい環境にあり体調変化はその都度報告あり。昼礼にてその都度意見を出し合っている。</li> <li>・業務スケジュール表で一日の業務が分かり誰もが、意識を持って取り組んでいる。</li> <li>・申し送りノートを活用して全職員とコミュニケーションを取っている。</li> </ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の食事形態がマニュアルとしてあるが、刻みの大小や食器、スプーンの大小にバラツキがあり、統一がなされていない。</li> <li>・ご利用者の状況(身体・内面的な事)の変化が客観的にわかるように記録に残せていない。</li> <li>・「以前の暮らし方」に考えることが少なく今起きている問題に目がいってしまい、原因が過去の暮らしにあると考えが思い思い浮かばない。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「以前の暮らし方」に些細な事でも気づきを各自増やし介護個人記録への記入を行う。</li> <li>・御利用者担当者として体調変化やサービス変更があった時は、速やかに全職員に統一できるよう可視化する。</li> <li>・日頃から御利用者の観察力を深め御利用者のしたい事を聞き出し会議において話し合いまとめ実行していく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30~21 : 25)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	3 人	4 人	11 人

前回の改善計画

- ・地域資源についての情報を整理し、専用のファイルを作り職員がいつでも閲覧出来るようにすると共に勉強会を開き理解を深め学ぶ機会を造る。
- ・知り得た資源情報をどのように活用していくのかも、全職員で話し合っていく機会も設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・地域資源を難しく考えているため、どこから手を付ければよいのかわからない状況である。目標とする所は変えずに、出来るところから地域とのかかわりを焦らず地道に行なっていると考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	5	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	5	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	4	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	2	4	11

できている点

- ・地域の催しに参加を御利用者で行っている。(グラウンドゴルフ大会)
- ・ホーム周辺の散歩を行い・地域のゴミ拾いを御利用者週 1 回行っている。
- ・御利用者が自宅でのどのように過ごしているのか把握できている。
- ・高校生の実習生が御利用者として接し研修を行っているが、職員もアドバイス等答え交流を続けている。
- ・2 か月に 1 回運営推進会議を行い地域とのかかわりを深めている。

できていない点

- ・地域資源の理解が出来ていない。また、積極的に勉強会もできていない。
- ・民生委員や自治会長・本人の友人たちの意向が反映されていないので、地域資源についての情報を把握できていない。
- ・御利用者の自宅での様子を全職員が共有することが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・管理者自身が積極的に自治会・まちづくり会と連携を図る。(清掃活動から行っていく。)
- ・御利用者の行きつけの店など把握し、交流を持って行く。(例) 食事処 買い物等
- ・地域資源について難しく考えるのではなく、我々が出来ると思われることからひとつずつ進めていく。(例) 外出 買物 図書館等

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30~21 : 25)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	6 人	2 人	11 人

**前回の改善計画**  
 家族状況・本人の状態をたえず把握しその時々に合わせてサービスが提供出来るようにするには、地域の方にも理解してもらい働き掛けをする。(地域の方に積極的に声をかけ顔なじみになり気軽に立ち寄ってもらえるよう努力をする。地域のイベントにも積極的に参加する。)

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 ニーズにおいて「通い」「訪問」「泊り」を提供出来ているという意見は多かった。また、地域のイベントにも参加できたと考える。しかしながら、地域資源を使っでの支援が事業所として不十分なところがあり地域とのかかわり方をこれからも学び話し合いが必要と考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	8	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7	3	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	2	0	11

**できている点**

- ・日々のかかわりで変化があると、家族様と事業所は連絡報告で共有出来ている。緊急の場合も「通い、訪問、泊まり」は適切にできている。
- ・地域の方に気軽に立ち寄って頂ける働きかけを、職員全員が行っている。また、介護相談員の方にも毎月入って頂いている。
- ・ボランティアの方にも入って頂き、御利用者、職員と交流の場を設けている。

**できていない点**

- ・地域の資源をうまく利用した支援を行いたいと考えているが、満足出来るところまで出来ていない。
- ・地域のイベントや地域会議等に参加したいが、時間的なことや業務関係で参加することが難しいところがある。
- ・地域の方に気軽に立ち寄って頂けることができていない。

**次回までの具体的な改善計画**

- ・家族様との良好な関係を深めるため、サービス内容に対しアンケート調査を行っていく。
- ・地域での清掃時等での場で挨拶など良好な関係を深め交流の場を増やす。また、イベント活動にも参加できる態勢を考えていく。
- ・職員全員が、積極的に地域資源を学べるよう部署会議の場で話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30~21 : 25)

6. 連携・協働

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	2 人	2 人	11 人

前回の改善計画

- ・運営推進会議での内容(議事録)を職員全員が読み事業所と地域のつながりの現状を把握する。そして、地域とのつながりが参加できる体制を造る。
- ・職員が運営推進会議に参加できるように声掛けて意見を出しやすい雰囲気を作って行く。
- ・地域の美化活動を継続し定着させる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員が運営推進会議に参加できるようになった。また、意見を出せるような雰囲気ができている。
- ・自治体、地域包括支援センターとの会議に思いはあっても、勤務の状況から参加できないことが多い。
- ・会議等の関心が全体的に低いと感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	3	5	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	2	9	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	3	7	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	6	3	11

できている点

- ・御利用者の健康状態を維持するため、訪問看護、訪問リハビリ、主治医、福祉用具との連携を図っている。月 1 回御利用者の状態を主治医に報告し、回診に付き添っている。
- ・森伸たよりを自治会へ回覧板に回して見ていただいている。
- ・明野高校との実習交流を行っており、御利用者・職員とのコミュニケーションも行われている。
- ・イベントがあると御家族や地域の方の方に来館していただけるようにポスティングしている。

できていない点

- ・外部研修の参加が業務に追われて思うように参加が出来ていない。
- ・地域の方と連携を取っているが地域の方との交流の場となるまでは行っていない。
- ・運営推進会議の議事録を閲覧しているが全職員が確認をしていない時がある。

次回までの具体的な改善計画

- ・勤務体制の緩和を考えていく。
- ・自治体や地域包括支援センターとの会議に参加した場合は、部署会議等で意見交換し学びの場とする。
- ・豊西まちづくりの会や自治会、近隣住民の方との交流を地道ではあるが、今後も進めていく。
- ・地域の方々との交流を取っていくために、職員の思いを取り上げていく。
- ・INBODYの活用を進め地域の方に利用して頂けるよう職員全員で考え進めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30~21 : 25)

7. 運営

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	1 人	7 人	3 人	11 人

前回の改善計画	
<p>前以て「見える化」の資料を作成して、職員に積極的な意見が出せるよう準備を行い発言しやすい雰囲気づくりをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が順次運営推進会議に参加し、地域の方や関わる専門職の方の生の意見を体感する。</li> <li>・事業所で出来る事を積極的に取り組むことはないか全職員で話し合い取り組む。例えば、INBODY の体験会や認知症サポーター講座などを開く。</li> </ul>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事情所のあり方について意見が言えている職員が増えてきているが、地域との協働した取り組みについて理解が出来ていないと考える職員が多かった。</li> </ul>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	2	5	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	4	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	5	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	1	7	3	11

できている点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・御利用者・家族様からの苦情は傾聴しスタッフで話し合い対応している。</li> <li>・事故が起きた場合は家族様に必ず報告し改善策を考えている。</li> <li>・毎月部署会議にて司会、議事録の役割を前もって決め事項書を起こし話し合う内容を確認・進行している。</li> <li>・部署会議に各自、前向きな意見を発言できている。</li> </ul>	

できていない点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不参加者において決まった内容の確認をスピード感がなくダラダラとしている。</li> <li>・運営推進委員会の方より毎回意見を述べて頂いているが地域の方の困りごとが拾えていない。</li> <li>・職員全員 INBODY の活用を学んだが、地域の方に生かすことが出来なかった。</li> <li>・部署会議において全員参加が出来ていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族様に対し、事業所として思い込みにならない様サービス利用内容へのアンケートを行っていく。</li> <li>・事業所として地域と協働した取り組みはどうしたら出来るのか、全職員と今後も話し合い、まず現在途中になっている。INBODY の活用を考えていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30～21 : 25)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	3 人	3 人	11 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場外研修の情報がわかりやすく掲示を行い参加しやすい環境をつくる。また、管理者・リーダーがスキルアップを求める職員に積極的に参加の声を促す。</li> <li>・ヒヤリハット、事故報告書が上がったときは、全職員が把握するため、朝礼・昼礼時に報告し「何故…」を考え「再発防止するには、どうするのか。」を意思統一する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内外の研修参加ができていない職員、参加できていない職員の顔ぶれが決まっている。</li> <li>・地域連絡会の参加が業務上において職員全員参加したくとも、勤務時間と研修時間が重なっているため参加が出来ない事が多い。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	5	3	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	1	5	3	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	3	2	11

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で各職員は、O-JT を行い年 2 回管理者・リーダーとチェックを行い、人材育成の為面談を行っている。</li> <li>・各自スキル向上の為、喀痰吸引研修に取り組んでいる。</li> <li>・事故報告書が上がった場合、再発防止の為部署会議の時全員で検討を行っている。</li> </ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場外の研修は、全職員が業務の関係で参加が難しいことがある為、参加できていない。</li> <li>・地域連絡会には管理者・ケアマネの特定の人参加しているが、介護職員は参加できていない。</li> <li>・リスクに対して全職員が取り組んでいるが、事故を起こした場合の事故報告書の提出が遅くなることもある。</li> <li>・職場外研修・職場内研修の案内は毎月掲示しているが、全員参加が出来ていない。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部署会議での研修勉強会を年間計画として立て一覧表に挙げていく。</li> <li>・研修時間に参加したい職員を優先的に把握して勤務時間の検討を行う。そのために、研修内容を年間計画の中に入れて全職員に閲覧でき、研修参加へ配慮を行う。</li> <li>・職場内外の研修に参加できない理由について管理者、リーダーが把握していき、研修に参加できなかった職員のフォローを少しでも行っておく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 20 日 (20 : 30～21 : 25)

9. 人権・プライバシー

メンバー 岩井 西井 北村 水谷  
永井 久保 中西 中村 玉村 岡田 奥村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	2 人	0 人	11 人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から全職員が整理整頓の習慣を出来るようにマニュアルの再確認を行う。</li> <li>・成年後見制度の勉強会を部署会議にて時間を取り、全職員で学び理解を深め、現御利用者に該当する方はいないか検討を行う。</li> <li>・全職員が出来ていると思わずに、拘束・虐待をしていないか定期的に確認を行う。</li> </ul>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が整理整頓・清掃がマニュアル・業務スケジュール表としてあるが、出来ていない。</li> <li>・成年後見人制度の勉強会を行い、制度について理解しようとする職員の意識がでてきた。</li> </ul>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	4	0	0	11
②	虐待は行われていない	9	2	0	0	11
③	プライバシーが守られている	5	4	2	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	7	1	3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	5	3	0	11

できている点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束・虐待に対する意識を絶えず持ち、笑顔での声かけを行っている。</li> <li>・天気が良い日や涼しい時は、玄関や裏口戸、窓を開放している。</li> <li>・虐待はなく、プライバシーも守り個人情報管理もできている。</li> <li>・トイレ (排泄) ・入浴とのプライバシーが保てるよう衝立の利用やドアの開閉に気を付けている。</li> <li>・車椅子の方でも自走できる方は自由に動いていただいている。ブレーキは御利用者 と声を掛け対応している。</li> </ul>	

できていない点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の勉強会が出来なかった。</li> <li>・介護記録をテーブルの上へ出しっぱなしにしてしまう事がある。</li> <li>・御利用者についての相談や申し送りを職員間で行う際、他の御利用者聞こえている可能性がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・御利用者や、訪問者の方にもいつでも気持ち良く使って頂くために整理整頓・清掃を意識する。</li> <li>・接遇マナーも年 1 回部署会議にて勉強会を開く。</li> <li>・全職員が出来ていると思わずに、拘束・虐待をしていないか定期的に確認を行う。</li> </ul>	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	8	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6	0	2
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	6	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	0	2

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？  【前回の改善計画】 ・散策等で施設外に出た時に地域の方に積極的に声を掛ける。 ・INBODYを宣伝し、御利用者以外の来館者様にも体験して頂き機能を活用する。	5	1	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5	0	3

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】  ・「森伸たより」を職員が地域の方に配る。 ・地域の行事や会合の情報を集め、カレンダーで周知する。 ・毎週木曜日は、施設周辺の掃除を継続する。	4	0	4
1	職員はあいさつできていますか？	8	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5	0	3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3	0	5

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】  ・地域の行事の情報収集をし、具体的なスケジュールを立てて参加していく。	5	1	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6	0	2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4	0	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	0	4

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】  ・会議に職員が全員参加できる雰囲気づくりをする。	8	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	0	2
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	5	0	3

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】  (前回の改善計画の再確認) ・防災、災害時の緊急連絡先の確認 ・非常食、防災の必需品の確認 ・防災マップ、防災マニュアル作成	4	0	4
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	0	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4	1	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	8	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	0	3

以上で終了です。ありがとうございました。

-外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	1	2
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6	1	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	6	1	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	1	3

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・自分の意見を率直に述べる雰囲気があり良かった。
- ・初めて運営推進委員会に参加するようになり、小規模の役割がどのようなことなのかわからなかった。また、外部評価がたくさん課題があり、どう評価して良いのか難しい。
- ・温かい施設と感じる。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・毎月の写真展示を見ると利用者様に対して温かい雰囲気（家庭的な）が伝わってくる。
- ・

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・自治会だけではなくまちづくりの会にも少しずつだが参加している。
- ・内容的に難しいところがあるので、細かいところはわからないが地域との連携を密にしていけば良いのではないか。
- ・防災について誰でもすぐ行動が出来るよう「見える化」が実現すると良いのではないか。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・毎月ご利用者の様子を写真に撮ったものを拝見させると、御利用者の笑顔から馴染んでいる様子がうかがえる。
- ・自治会の催し案内をできるだけ多くの職員が参加出来るように努力する。
- ・スタッフの人材育成として、リーダーが育ったことは大きな原動力となった。

【改善計画】※後日記入

- ・御利用者のサービスの質の向上のため、自由に自分らしく生きていける環境・（個別援助支援計画）を職員全員で実現を目指していく。
- ・個々のスキルを向上（部署会議での勉強会、社内研修へ参加昨年よりも増員）
- ・森伸実践五項とモットー（3S）の再確認と実践

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4	1	3
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・フロアを全体的に見通しが出来ているので、安心感があり御利用者も落ち着くのではないかと思う。
- ・天窓があるので、開放的で明るく感じる。
- ・居室も何かあれば直ぐ、職員の目が届き確認できる距離間なので安心なのではないかと思う。

【前回の改善計画】

- ・環境等は今後も窮屈さを感じさせない環境づくりを目指す。
- ・書類の整理、トイレ、洗面所、床、玄関、浴室の清潔に保てるよう掃除を行っていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・御利用者の日常の写真が A4 サイズで展示されており、とても分かりやすい。
- ・御利用者と職員がそれぞれに、笑顔があると感じる。
- ・庭には野菜や花などが植えてあり、収穫が出来たら御利用者や職員がおやつレクリエーションで楽しんでいる。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・トイレ、洗面所、床、玄関、浴室、台所等の掃除は毎日出来るようチェックリストを作成し行っていく。
- ・修繕箇所・危険性がないか毎月チェックを行う。
- ・玄関には、御利用者の作品や生け花等「おもてなし」として御利用者と共に考える。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		3
1	職員はあいさつできていますか？	4		4
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	1	3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	2	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3	1	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の行事やイベントは年に数回ほど交流が出来て良かった。
- ・「森伸たより」は自治会（磯地区）では、回覧板として閲覧できている。
- ・小俣駅前と近隣の清掃（ゴミ拾い）を毎週木曜日少人数であるが続けている。
- ・まちづくりの会に数回参加できたが、相談しやすい場所には、成っていない為まだまだ、時間が要する。

【前回の改善計画】

- ・職員全員が「地域とのかかわりを持つ。」ということに意識を強める。
  - ① 「森伸たより」を職員が配る。
  - ② 地域の清掃に参加
  - ③ 地域の会合等に参加

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・自治会（磯地区）との清掃活動を1回参加することが出来た。（10月）
- ・まちづくりの会の主催「グランドゴルフ」に御利用者と共に参加できた。（5月）
- ・磯地区内の公園に御利用者と共にいった。

【改善計画】※後日記入

- ・地域における相談場所に成って行くためにはまだまだ、継続することが必要と考える。
  - ① 「森伸たより」を職員が配る。
  - ② 地域の清掃活動に参加と小俣駅周辺のゴミ拾いの継続
  - ③ 地域の会合等に参加

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所で個々の意見が話しやすい状態にしている。しかし、2ヶ月に1回なので分からないことが何なのか分からない。(小規模多機能型居宅介護が解らない)
- ・地域の行事を掲示板にて掲示、公民館に行事のポスター掲示を行ったが参加者が少なかった。
- ・限られた時間の中で参加者を集うのは難しいところがある。

【前回の改善計画】

- ・地域の行事の情報収集をし、具体的なスケジュールを立て参加していく。
- ・

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・買い物など御利用者が行きたいときを事前に聞き取り、一緒に行けるよう行っている。
- ・季節によって公園に出向き、気分転換や地域の方々と交流に努めている。
- ・

【改善計画】※後日記入

- ・地域行事や清掃活動は、地域と連携強化に努め参加していく。
- ・地域会合等に参加し繋がりを持てるよう事業者の出来ることを考える。
- ・事業所に地域の住民の方が来館してもらえるようにポスティングを行っていく。
- ・事業所での食事会だけでなく、地域交流の場での外食を年に2～3回計画する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	1	3
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5		3
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	2	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	1	3
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	2	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・2ヶ月に1回であるが、利用者状況等を職員から説明があり写真展示もされており事業所の雰囲気伝わってくる。
- ・意見交換の場があり、ざくばらんに話せるようになっていた事は良いことだと感じる。
- ・職員が変わって参加しているので、事業所の様子が伝わってくる。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議に職員が全員参加出来る雰囲気作りをする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・職員が各自運営推進会議に参加したことでサービスの考え方を見直しする事が出来た。
- ・地域への周知度がまだまだであるが、職員の意識向上に繋がったと感じる。
- ・職員の声掛けにより家族様の参加者が2名、御利用者は2～3名と昨年よりも増えた。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議での意見交換を大事にするには、今後とも雰囲気づくりを大切にして地域の現状と課題を把握する。
- ・地域の声を聞き逃さない。(事例検討を把握する。)
- ・職員参加を継続していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	2	3
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	2	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4	2	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	5	3
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4	2	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・災害時自治会とは距離がある為、協力的な動きは出来ないのではないかと感じる。
- ・近隣住民との連携を今後とも考えていく必要があると感じる。
- ・御利用者や職員がとっさの時、行動が出来るよう壁などに貼っても良いのではないか。
- ・歩けない御利用者も居ると思うが、どう対応するのか。

【前回の改善計画】

（前回の改善計画の再確認）

- ・防災、災害時の緊急連絡先の確認
- ・非常食、防災の必需品の確認
- ・防災マップ、防災マニュアルの確認

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・事業所での防災訓練は、2回行った。（5月夜間時の避難訓練）  
（11月通報訓練・避難訓練・放水訓練）
- ・近隣住民との防災・災害訓練が出来ていないので、行えるようにしていきたい。
- ・夜間等、職員1名でどこまで何が出来るのか心配な面がある。
- ・市には防災マニュアル等提出しているが、いくつかの確認箇所があった。

【改善計画】※後日記入

- ・防災担当責任者との連携がスピード感を持って対応策を行い早急にマニュアル作成行う。
- ・非常食の賞味期限の確認と食事量を視える化を行う。
- ・災害時での緊急連絡先を（御利用者、御家族、職員）一覧表を確認する。
- ・地域との防災訓練を実現に向けての努力を継続する。